

薬事情報センターに寄せられた県民・医療従事者からの相談事例 (2013年6月)

【適正使用】

Q：ボルタレンTM錠を頓用で処方され、服用間隔を6時間あけるように言われている。飲んでも痛みが止まらないが、1日どのくらいまで使って良いか？（県民）

A：通常1日の用量は75～100 mg（3～4錠）。頓用で1回1～2錠使用するが、1日2回まで。痛みが止まらないからといって多く使用すると、副作用が強くなるので、それ以上は使用しない。痛みが治まらないことを医師に相談する。

Q：ボルタレンTMゲル、スチックゼノールTMA、深海ザメ液マーリンインを友人からもらったので使用したいが、何の薬か？（県民）

A：ボルタレンTMゲルとスチックゼノールTMAは消炎痛薬で、深海ザメ液マーリンインは健康食品だが、友達からもらった薬などは使用しない。

【相互作用防止】

Q：皮膚科で爪白癬のためイトリゾールTMで治療中。1週間飲んで3週間休むサイクルを3回行うが、今は1回目の服用後1週間の休薬中。風邪をひいたので受診するが、今は薬を飲んでいないので、医師には伝えなくて良いか？（県民）

A：休薬中でも薬は体内に残存しており、今から受診する医師には、皮膚科治療でイトリゾールTMの服用歴を伝える。風邪で何の薬が処方されるか不明だが、一部の抗生物質ではイトリゾールTMの血中濃度が増加する可能性がある。

Q：避妊目的でマーベロンTM21を服用中。歯科からトミロンTMが処方されたが一緒に飲んでも良いか？（県民）

A：他の系統の抗生物質で、ピルの作用減弱の可能性が報告されているので、他の避妊法を併用した方が安全。

Q：オルメテックTM、ヘルベッサTM、パファリンTM81、プラビックスTM、ネキシウムTM、ソプレロールTM、アロプリノール、マイスリーTMを服用中の患者。トミロンTMまたはオゼックスTMとカロナールTMとの相互作用は？（歯科医師）

A：カロナールTMは、消化性潰瘍の患者には禁忌。オルメテックTMはNSAIDsとの併用で作用が減弱するので併用注意。

Q：コニール™、アルダクトン™、オルメテック™、アーチスト™1.25mg、ワーファリン™、バイアスピリン™、ラシックス™を服用中の患者。フロモックス™とポンタール™との相互作用は？
(歯科医師)

A：ポンタール™でワーファリン™の作用が増強し、ラシックス™の利尿作用が減弱する可能性があるため併用注意。

Q：カルシウム拮抗薬とグレープフルーツジュースは2時間以上間隔をあければ問題ないか？(薬局)

A：代謝酵素阻害作用は通常24時間程度は持続し、薬によっては数日に及ぶこともある。2時間程度あけたら影響がなくなるとは言えない。カルシウム拮抗薬の種類により影響に差がある。控えた方が良いが、摂取する場合には血圧の変動に注意する。

【アドヒアランス向上】

Q：バファリン™を服用中。抜歯の時は1週間くらい中止しないといけないらしいが、内科医は中止しないことが多い。中止しなくても良いのか？(県民)

A：出血の危険性から、以前は抜歯前には薬を中止していたが、中止による血栓塞栓症の発症リスクの増加が懸念され、現在では十分な止血処理により服用を継続したまま抜歯が行われている。歯科医と内科医が相談して、血栓塞栓症のリスクが低い場合には薬を中止することもあるが、指示がない限り勝手に中止しない。

【副作用防止】

Q：カルフィーナ™を服用中。アミノ酸やビタミン含有(ビタミンDも含有)の健康食品を使用しているが、良いか？(県民)

A：カルフィーナ™は活性型ビタミンD₃製剤で、ビタミンDは摂りすぎると高カルシウム血症等が起こることがある。摂取していることを主治医に伝え、定期的にカルシウム値を検査する。

Q：喘息患者に鎮痛薬を使用したい。何が良いか？(アスピリン喘息かは不明)(歯科医師)

A：アスピリン喘息の場合、アセトアミノフェンは比較的安全に使用できる(1回300mg以下で使用)。シメトリド、カフェインが成分のキョーリンAP2™は歯痛に適応があり使用可能。